

- 浩, 高須充子, 長島文夫, 古瀬純司. 膵・胆道癌薬物療法: 臨床試験を読む! —最新の動向と実地診療へのインパクト—. 遠隔転移を伴う膵癌に対するゲムシタビン+ナブパクリタキセル併用療法の第Ⅲ相試験. 胆と膵 34(8):619-624, 2013.
138. 松林宏行, 杉本真也, 上坂克彦, 金本秀行, 杉浦禎一, 水野隆史, 岡村行泰, 福富 晃, 戸高明子, 角嶋直美, 田中雅樹, 堀田欣一, 鷹尾俊達, 今井健一郎, 山口裕一郎, 小野裕之, 膵腫瘍の超音波内視鏡診断 膵癌 high risk individuals における EUS surveillance, 肝胆膵, 2013 : 66 : 25-31
139. 福富 晃, 膵癌周術期補助療法の現状と新展開, 臨床消化器内科, 2013 : 28 : 297-307
140. 上坂克彦, 福富 晃, 朴 成和, 金本秀行, 膵癌の術後補助療法の最近の進歩 JASPAC 01 を中心として, 胆と膵, 2013 : 34 : 625-629
141. 福富 晃, 膵がんに対する分子標的薬の開発, 腫瘍内科, 2013 : 12 : 298-308
142. 遠藤和洋, 佐田尚宏, 田口昌延, 兼田裕司, 小泉 大, 笹沼英紀, 佐久間康成, 清水 敦, 俵藤正信, 安田是和. Virtual 3D model, real 3D model による胆膵手術シミュレーション並びにナビゲーションの試み. 胆と膵 34 : 69-73, 2013
143. 佐田尚宏, 笹沼英紀, 小泉大, 兼田裕二, 石黒保直, 黒河内 颯, 佐久間康成, 安田 是和. IPMN/MCN 診療の転換期-日本の成績が示すものは-病変の悪性化と通常型膵癌の併存発生, 切除後再発の診断. 肝胆膵 67:687-692,2013
144. 原太郎, 山口武人, 須藤研太郎, 中村和貴, 杉田統, 辻本彰子, 新井裕之, 喜多絵美里, 中村奈海, 相馬寧, 鈴木拓人, 三梨桂子, 廣中秀一, 傳田忠道, 石原武. 非切除・化学療法施行例に対してステント治療-抗腫瘍療法を前提とした進行膵癌に対する胆管ステンティング-. 胆と膵.2013;34:825-832.
145. 山口武人. 診断における新展開 膵癌の EUS-FNA 診断の意義と限界(解説/特集). 臨床外科.69(1):6-11.
146. 須藤研太郎, 中村和貴, 山口武人. 膵がん治療の新たな展開 S-1 をどう使うか?(解説/特集). 腫瘍内科.2013 ; 12(3):283-287.
147. 須藤研太郎, 横井左奈, 大平美紀, 中村和貴, 原太郎, 瀬座勝志, 傳田忠道, 廣中秀一, 三梨桂子, 鈴木拓人, 相馬寧, 北川善康, 喜多絵美里, 中村奈海, 稲垣千晶, 山口武人. 切除不能膵癌における EUS-FNA 検体を用いた網羅的ゲノム解析による個別化治療確立の試み (解説 / 特集). 胆と膵.2013;34(2):185-189.
148. 大川伸一 : 遠隔転移を伴う膵癌に対する FOLFIRINOX 療法の第Ⅲ相試験 胆と膵 34 (4) : 615-618, 2013
149. 大川伸一、坂本康成、上野誠 : Gemcitabine+Erlotinib 療法により長期 PR 期間が得られた多発性肝転移を伴う膵体部癌の 1 例 癌と化学療法 40 : 785-788, 2013
150. 木田光広: 【とことん知りたい ERCP の手技のコツ もう迷わない!後方斜視鏡の挿入から、乳頭の観察、深部挿管まで】 コラム 上級者との交代のポイント 消化器内視鏡 レクチャー, 2013/01, 1(3): 524.
151. 木田光広, 荒木 正雄, 三島 孝仁, 渡邊 晃識, 徳永 周子, 山内 浩史, 奥脇興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊地 秀彦, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和二郎: 【胆膵内視鏡新潮流】 膵腫瘍の超音波内視鏡診断 膵疾患に対する EUS-FNA の現況, 肝・胆・膵, 2013/01, 66(1):9-16.
152. 木田光広, 三島孝仁, 金子亨, 渡邊晃識, 徳永周子, 山内浩史, 奥脇興介, 宮澤志朗, 岩井知久, 池田弘子, 荒木正雄, 竹澤三代子, 菊地秀彦, 渡辺摩也, 今泉弘, 坂口哲章, 山田至人, 小泉和二郎: ラジアル式 EUS によるアプローチ, 消化器内視鏡, 2013/02, 25(2):267-273.
153. 渡辺晃識, 木田光広, 奥脇興介, 宮澤志朗, 岩井知久, 竹澤三代子, 渡辺摩也, 今泉 弘, 小泉和二郎: IPMN に対する経口膵管鏡 POPS の有用性, Progress

- of Digestive Endoscopy, 2013/06, 82(1):53-55.
154. 木田光広, 三島孝仁, 金子 亨, 山内浩史, 奥脇興介, 宮澤志朗, 池田弘子, 岩井知久, 菊地秀彦, 荒木正雄, 渡辺摩也, 今泉 弘, 小泉和三郎: 【消化器疾患における超音波内視鏡検査-現況と将来展望-】 EUS の現況と新展開 超音波内視鏡検査による消化管疾患の診断の現況, 最新医学, 2013/08, 68(8):1698-1704.
 155. 木田光広: 治療現場最前線 北里大学医学部消化器内科学(胆膵グループ), 膵・胆道癌, FRONTIER, 2013/09, 3(2):24-27.
 156. 武岡奉均, 宮本敦史, 中森正二, 浅岡忠史, 原田百合奈, 山岡雄祐, 山本和義, 池永雅一, 宮崎道彦, 池田正孝, 平尾素宏, 藤谷和正, 関本貢嗣 膵頭十二指腸切除術における術前減黄と Surgical Site Infection 発生に関する検討 日本外科感染症学会雑誌, 10(2):161-167, 2013
 157. 浅岡忠史, 宮本敦史, 中森正二. 消化器外科の術式別ケア「第3章肝胆膵疾患9 膵移植」消化器外科 NURSING, 秋季増刊; 147-150, 2013
 158. 井口東郎. 治療現場最前線 四国がんセンター臨床研究センター. 膵・胆道癌 FRONTIER 3:22-26, 2013.
 159. 下川雄三, 田尻博敬, 荒武良総, 久野晃聖, 杉本理恵, 古川正幸. 膵癌の除外に苦慮している自己免疫性膵炎の1例. 臨床と研究(別冊). 2013:90:552
 160. 久野晃聖, 藤山隆, 杉本理恵, 奥村幸彦, 古川正幸. Gemcitabine および S-1 に治療抵抗性となった進行膵がんに対する追加化学療法の有効性. 膵臓: 2013:28:56-61
 161. 中村聡明. 膵腫瘍に対する放射線療法の現状と成績. 肝胆膵 67(2):285-290, 2013.
 162. 清水京子. がんの最新治療 各論(7)膵癌の化学療法. 東京女子医科大学雑誌 83: (4): 211-218, 2013
 163. 土岐真朗, 古瀬純司, 倉田勇, 内田康仁, 田部井弘一, 畑英行, 蓮江智彦, 平野和彦, 中村健二, 鈴木裕, 山口康晴, 阿部展次, 大倉康男, 杉山政則, 石田均, 高橋信一. 生活習慣と膵疾患. 膵癌のリスクファクターとしての糖尿病. 効率的な膵癌スクリーニングを目指して. 膵臓 27(2):153-157, 2012.
 164. 奥坂拓志, 木原康之, 伊藤鉄英, 古瀬純司, 上坂克彦, 山口幸二. 膵癌診療ガイドライン. 化学療法. 膵臓 27(3):298, 2012.
 165. 古瀬純司, 大東弘明, 中郡聡夫, 菅野敦, 中村聡明, 上坂克彦, 奥坂拓志, 山口幸二. 膵癌診療ガイドライン. 膵癌切除術の補助療法. 膵臓 27(3):299, 2012.
 166. 杉森一哉, 奥坂拓志, 福富晃, 上野秀樹, 井岡達也, 大川伸一, 朴成和, 山雄健次, 水元一博, 古瀬純司, 船越頭博, 羽鳥隆, 山口武人, 江川新一, 佐藤温, 大橋靖雄, 田中雅夫. 通常型膵癌の治療戦略. GEST 試験(膵癌の第 III 相試験)の追跡調査結果報告. 膵臓 27(3):322, 2012.
 167. 古瀬純司. 肝・胆・膵腫瘍の薬物療法-最近の進歩. 諸言 肝・胆・膵がんに対する薬物療法の動向. 腫瘍内科 9(6):635-640, 2012.
 168. 土岐真朗, 古瀬純司, 倉田勇, 内田康仁, 蓮江智彦, 田部井弘一, 畑英行, 勝田秀紀, 山口康晴, 大倉康男, 杉山政則, 石田均, 高橋信一. 膵管癌の危険因子と早期診断法. 膵癌のリスクファクターとしての糖尿病. 消化器内科 55(1):74-79, 2012.
 169. 春日章良, 成毛大輔, 有馬志穂, 北村浩, 高須充子, 長島文夫, 吉田正, 野村久祥, 川上英泰, 臼井浩明, 畔蒜祐一郎, 長澤知徳, 古瀬純司. 胆膵領域における DPC と電子カルテ時代に対応したクリニカルパス. 膵胆道癌外来化学療法におけるクリニカルパス. 胆と膵 33(9):745-751, 2012.
 170. 古瀬純司. 抗がん剤治療の最前線:分子標的薬剤の使用による進歩(後篇). 各臓器別の最新治療と新薬の動向. 膵がん. 最新医学 67 巻 9 月増刊:2230-2237, 2012.
 171. 古瀬純司. 特集 がん医療におけるプライマリケア医の役割を考える. ここ

- まで進歩した外来がん化学療法. 肝癌・胆道癌・膵癌. 日本医事新報社 4627:57-60, 2012.
172. 多田稔, 奥坂拓志, 古瀬純司, 森田智視. 膵癌治療の新展開. タルセバ・ジェムザール・TS-1. 肝・胆・膵 64(2):269-286, 2012.
173. 谷口浩也, 福富 晃, 胆道系、膵臓系腫瘍 Cetuximab、肝・胆・膵、2012 : 64 : 701-710
174. 福富 晃, 局所進行膵がんに対する化学放射線療法 今後の展望、腫瘍内科、2012 : 9 : 708-717
175. 戸高明子, 福富 晃, 膵退形成癌と膵未分化癌に対する薬物療法、胆と膵、2012 : 33 : 669-674
176. 福富 晃, 局所進行膵癌に有効な治療法とは 化学療法が有効の立場から、膵・胆道癌 Frontier、2012 : 2 : 78-82
177. 大田耕司、井口東郎. 【膵疾患における FDG-PET の有用性】IPMN(intraductal papillary mucinous neoplasm)良悪性鑑別診断における造影 FDG-PET/CT の有用性. 胆と膵 33:433-440、2012.
178. 井口東郎、浅木彰則、清水輝彦. 膵疾患診断における FDG-PET/CT の役割. 肝胆膵画像 14:122-130、2012.
179. 古川正幸、李倫學、植田圭二郎、船越顕博. 2 型糖尿病に発症する膵癌の臨床的特徴. 膵臓 : 2012 : 27 : 145-152
180. 井上賢之、小泉 大、佐田尚宏、安田是和. G-CSF 産生退形成性膵管癌の 1 例. 日本消化器外科学会雑誌 45:427-433、2012
181. 貝沼修, 山 宏, 趙明浩, 成進, 有光秀仁, 須藤研太郎, 中村和貴, 原太郎, 傳田忠道, 山口武人. 進行膵癌の術前治療と手術適応 (解説 / 特集). 癌の臨床. 2012;58(5):255-260.
182. 須藤研太郎、中村和貴、原太郎、廣中秀一、傳田忠道、中村奈海、相馬寧、北川善康、三梨桂子、山口武人. ジェムザール, TS-1 の特徴. 肝胆膵. 2012;64(2):195-200.
183. 須藤研太郎, 山口武人, 中村和貴, 原太郎, 瀬座勝志, 廣中秀一, 傳田忠道, 三梨桂子, 鈴木拓人, 相馬寧, 中村奈海, 北川善康, 喜多絵美里, 稲垣千晶, 貝沼修, 趙明浩, 山本 宏, 幡野和男, 宇野隆, 多田素久, 三方林太郎, 石原武, 横須賀收. 局所進行膵癌に対する非切除治療の意義 (解説 / 特集). 膵臓. 2012;27(5):656-662.
184. 大川伸一: 【膵希少腫瘍の治療選択】膵腺扁平上皮癌の治療選択 胆と膵 33 卷 8 号 661-663 2012
185. 大川伸一: 膵癌治療の新展開;タルセバ・ジェムザール・TS-1】大いに期待される新たな膵癌化学療法 SOX-プラチナ製剤の膵癌における有用性 肝胆膵 64 卷 2 号 255-260, 2012
186. 伊藤芳紀, 馬屋原 博, 脇田 明尚, 角美奈子, 師田 まどか, 村上 直也, 吉尾 浩太郎, 稲葉 浩二, 高橋 加奈, 関井 修平, 原田 堅, 北口 真由香, 山岸健太郎, 伊丹 純. 【知っておきたい放射線・粒子線治療】膵癌に対する放射線治療の現況と展望. 臨床外科 67:1004-1010, 2012.
187. 中村聡明. 局所進行膵癌に有効な治療法とは:放射線科医の立場からの提言、膵・胆道癌 FRONTIER 2: 86-87, 2012
188. 中森正二、浅岡忠史、宮本敦史 膵未分化癌に対する治療選択 胆と膵, 33 (8) : 665 - 668 , 2012
189. 古瀬純司, 廣川智, 北村浩, 長島文夫. 胆道・膵癌の治療 診療ガイドラインはどう変わるか? 胆道癌化学療法の最新情報. 胆と膵 32(4):277-282, 2011.
190. 古瀬純司, 北村浩, 廣川智, 長島文夫. がん化学療法の進歩. 各論. 臓器別がん治療. 膵がん・胆道がん. 化学療法の領域 27 卷増刊:1216-1223, 2011.
191. 古瀬純司. 抗がん剤. 肝胆膵. 消化器外科学レビュー 2011 卷:208-215, 2011.
192. 光永修一, 池田公史, 仲地耕平, 大野泉, 清水怜, 高橋秀明, 奥山浩之, 稲垣正俊, 古瀬純司, 落合敦志. 進行膵がんにおいて, 病状悪化を認める IL-6 高値群のうち IL-1 高値群は予後不良である. 膵臓 26(3):397, 2011.
193. 柳本泰明, 井岡達也, 池田公史, 大川伸一, 杉森一哉, 福富晃, 馬場秀夫, 山雄健次, 上野秀樹, 朴成和, 水元一博, 古瀬純司, 羽鳥隆, 船越顕博, 山口武人, 江川新一, 佐藤温, 大橋靖雄,

- 田中雅夫, 奥坂拓志. 進行膵癌に対する GEM/TS-1/GEM+TS-1 の第 3 相試験 (GEST). 膵臓 26(3):357, 2011.
194. 古瀬純司. 膵臓疾患診断・治療の進歩と近未来. 膵癌化学療法展の展望. クリニシアン 58(8):1023-1028, 2011.
195. 古瀬純司, 山雄健次, 上坂克彦, 石井浩, 奥坂拓志, 大川伸一. 膵癌治療のこれから. これまでの 10 年を振り返って. 膵・胆道癌 Frontier1(1):4-13, 2011.
196. 古瀬純司. 膵がん第 III 相試験のエンドポイント. 日本癌治療学会誌 46(2):367, 2011.
197. 古瀬純司. State of the Art(Part 1). 膵・胆道癌. 外来癌化学療法 2(3):169-173, 2011.
198. 中森正二. 膵・胆道癌に対する外科的治療の現状と問題点 Approach to Oncology, 4-Jan ; 4-6, 2011
199. 中森正二, 遠藤和喜雄, 大里浩樹, 柴田高, 武田裕, 東野健, 蓮池康徳, 榊谷誠三, 森本卓, 土岐祐一郎, 森正樹, 門田守人. 切除不能進行・再発膵癌における UFT 先行投与 Gemcitabine 併用化学療法が多施設共同第 II 相臨床試験. 癌と化学療法 38(5) : 789-792,2011.
200. 中森正二. 非特異的腫瘍マーカーの意義と臨床応用. 成人病と生活習慣病 41(6):741-743,2011.
201. 古川健太, 辻江正徳, 宮本敦史, 中森正二, 辻仲利政. 膵転移で発見された膵体部癌の 1 例 日本臨床外科学会雑誌, 72(5); 1256 - 1260, 2011
202. 松本俊彦, 竹治 智, 浅木彰則, 梶原猛史, 仁科智裕, 堀伸一郎, 池田宜央, 灘野成人, 井口東郎. 高度肝転移をともなった膵癌に対する Gemcitabine/テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤 (S-1) 併用療法の治療成績. 日本消化器病学会雑誌 108:2003-2009, 2011.
203. 井口東郎. 膵がんの治療戦略:分子標的薬剤の位置づけ. 腫瘍内科 7:153-161, 2011.
204. 古川正幸, 船越顕博. 高齢者膵癌の臨床的特徴 - 生活習慣の観点から膵癌の発癌制御は可能か. 消化と吸収. 2011 : 33 : 271-280
205. 李倫學, 古川正幸, 船越顕博. 膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)術前診断における FDG-PET 有用性の検討. 膵臓. 2011 : 26 : 583-588
206. 亀田亮, 小林智, 上野誠, 宮川薫, 大川伸一, 山本直人, 森永聡一郎, 亀田陽一 : Gemcitabine 療法施行後に根治切除を行い組織学的に著明な抗腫瘍効果が確認された一例 膵臓 26(4) 531-537, 2011
207. 新名雄介, 肱岡真之, 岩尾梨沙, 五十嵐久人, 伊藤鉄英, 高柳涼一. 各種疾患の腫瘍マーカー 膵癌. 臨床と研究 88(8)76-80,2011
208. 新名雄介, 五十嵐久人, 安田幹彦, 石神康生, 中村雅史, 森松克哉, 小田義直, 高柳涼一, 伊藤鉄英. 経過を追えた小膵癌—この所見に気をつけろ! 症例呈示 糖尿病と膵癌. 肝胆膵画像 13(3)261-267,2011
209. 伊藤鉄英, 藤森 尚, 中村太一, 麻生 暁, 中村和彦, 五十嵐久人, 高柳涼一. 生活習慣と膵癌. 総合臨床 60(5) 684-689,2011
210. 中村聡明. 膵癌治療における放射線療法の役割と課題. 胆と膵 32(4):319-322, 2011.

学会発表

1. 西田保則, 光永修一, 桑原明子, 奥山浩之, 高橋秀明, 大野泉, 清水怜, 池田公史: 出血性横行結腸静脈瘤を合併した膵頭部癌切除後再発患者に対して人工肛門増設術後に化学療法実施した 1 例 日本消化器病学会関東支部第 328 例会 2014.2.22, 東京.
2. Nakai Y, Okusaka T, Ikari T, Isayama H, Furuse J, Ishii H, Imai S, Okamura S, Hamada C: Analysis of prognostic factors in locally advanced and metastatic pancreatic cancer treated with gemcitabine or gemcitabine and S-1 chemotherapy using individual patient data from three randomized studies. 2014 Gastrointestinal Cancers Symposium. General Poster Session. J Clin Oncol 32, 2014 (suppl 3; abstr 223), 2104.1.17, San Francisco
3. Furuse J, Baba H, Ohkawa S, Sugimori K, Yamamoto K, Minami H, Kitagawa Y, Kuramochi H, Kwon AH, Unno M,

- Wakabayashi G, Aiba K, Tamura K: Prospective observational study on chemotherapy-induced nausea and vomiting (CINV) for hepatobiliary and pancreatic cancer patients who were to receive chemotherapy including cisplatin by the CINV study group of Japan. 2014 Gastrointestinal Cancers Symposium. General Poster Session. J Clin Oncol 32, 2014 (suppl 3; abstr 341), 2104.1.17, San Francisco
4. Okusaka T, Ohkawa S, Isayama H, Fukutomi A, Yamaguchi K, Ikeda M, Funakoshi A, Nagase M, Nakamori S, Hamamoto Y. Randomized Phase II trial of S-1 versus S-1 plus Oxaliplatin (SOX) in patients with gemcitabine refractory pancreatic cancer. (ヤクルト、Poster presentation II, Abstract ID: 728P, Category: Gastrointestinal tumors, non-colorectal), ASCO-GI 2014.1
 5. Tomofumi Miura, S. Mitsunaga, S. Shimizu, I. Ohno, H. Takahashi, H. Okuyama, A. Kuwahara, M. Ikeda Characterization of patients with high serum level of IL-6 in advanced pancreatic cancer. ASCO-GI2014 Gastrointestinal Cancers Symposium January 16-18 2014 San Francisco
 6. Akira Shinohara, H. Okuyama, A. Kuwahara, M. Kobayashi, H. Takahashi, I. Ohno, S. Shimizu, S. Mitsunaga, S. Saitoh, M. Ikeda: Efficacy of prophylactic minocycline treatment for skin toxicities induced by erlotinib plus gemcitabine in advanced pancreatic cancer patients. ASCO-GI2014 Gastrointestinal Cancers Symposium January 16-18 2014 San Francisco
 7. Ioka T, Sueyoshi H, Sueyoshi H, Ishida N, Yamai T, Fukutake N, Ashida R, Uehara H, Katayama K. Phase I.II study of gemcitabine plus S-1 with concurrent radiotherapy in patients of unresectable locally advanced pancreatic cancer. ASCO-GI Symposium 2014.1.17. (米国サンフランシスコ) 【ポスター】
 8. Takada R, Ioka T, Sueyoshi H, Ishida N, Yamai T, Fukutake N, Ashida R, Uehara H, Katayama K. A prognostic examination of the chemotherapeutic selection for pancreatic cancer patients with peritoneal dissemination: A retrospective study from a single center. ASCO-GI Symposium 2014.1.17. (米国サンフランシスコ) 【ポスター】
 9. Yamai T, Ioka T, Takada R, Fukutake N, Ashida R, Uehara H, Katayama K. Phase I . II trial of Gemcitabine(Gem) +Irinotecan(CPT-11) for metastatic pancreatic cancer. ASCO-GI Symposium 2014.1.17. (米国サンフランシスコ) 【ポスター】
 10. 浅木彰則、日野佳織、上杉和寛、松本俊彦、西出憲史、梶原猛史、仁科智裕、堀伸一郎、寺尾正子、灘野成人、井口東郎. Repeat TAE 後、everolimus を導入した NET(G2)の 2 例. 第 9 回 NETWORK JAPAN. 2014.1.14,福岡.
 11. Masafumi Ikeda, Akihiro Sato, Nobuo Mochizuki, Kayo Toyosaki, Chika Miyoshi, Rumi Fujioka, Shuichi Mitsunaga, Satoshi Shimizu, Izumi Ohno, Hideaki Takahashi, Hiroyuki Okuyama, Hiromi Hasegawa, Shogo Nomura, Toshiki Ohkubo, Satoshi Yomoda, Satoshi Kishino, Hiroyasu Esumi. A Phase I trial of GBS-01 for Advanced Pancreatic Cancer Refractory to Gemcitabine. The 18th JFCR-ISCC (第 18 回がん研究会—国際がん化学療法シンポジウム) 2013.12.4 東京
 12. Shuichi Mitsunaga, Masami Suzuki, Hidetaka Suzuki, Tomofumi Miura, Minoru Narita, Masafumi Ikeda, Atsushi Ochiai. Nervous system reaction to neural invasion leads to cachexia in pancreatic cancer. 7th cachexia conference (国際悪液質会議) 2013.12.10 神戸市
 13. Tomofumi Miura, Shuichi Mitsunaga, Masafumi Ikeda, Atsushi Ochiai. Low active ghrelin ratio correlated with appetite loss in patients with advanced pancreatic cancer. 7th cachexia conference (国際悪液質会議) 2013.12.10 神戸市
 14. 升谷 寛以, 木田光広, 奥脇 興介, 徳永 周子, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 当院で経験した Serous cyst neoplasm of the pancreas の検討, 第 97 回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2013.12.15, 東京, Progress of Digestive Endoscopy, 84 巻 Suppl. Pages122(2013.12).

15. 古江 康明, 木田光広, 山内 浩史, 徳永 周子, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊池 秀彦, 渡辺 麻也, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 当院で経験した Solid-Pseudopapillary Neoplasm(SPN)の検討, 第 97 回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2013.12.15, 東京, Progress of Digestive Endoscopy, 84 巻 Suppl. Pages122(2013.12).
16. 川野 壽宙, 木田光広, 山内 浩史, 徳永 周子, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 経口胆道鏡(POCS)が術前診断に有用であった IPNB の 1 例, 第 97 回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2013.12.15, 東京, Progress of Digestive Endoscopy(1348-9844)84 巻 Suppl. Pages120(2013.12).
17. 麻生 健一郎, 木田光広, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊池 秀彦, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 当院で経験した膵粘液性嚢胞性腫瘍 (Mucinous Cystic Neoplasm:MCN)の検討, 第 97 回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2013.12.15, 東京, Progress of Digestive Endoscopy, 84 巻 Suppl. Pages116(2013.12).
18. 古瀬純司: 肝・胆・膵癌の化学療法. 総会特別企画「若手外科医のための教育セッション」. 第 75 回日本臨床外科学会総会. 2013.11.22, 名古屋市
19. 宮本敦史, 浅岡忠史, 原口直紹, 山本和義, 三宅正和, 西川和宏, 宮崎道彦, 池田正孝, 平尾素宏, 関本貢嗣, 中森正二. 肋間ポートが有用であった再肝切除症例 第 26 回 日本内視鏡外科学会総会 2013.11.28-30, 福岡市
20. 寺松克人, 大野隆真, 久野晃聖, 田尻博敬, 荒武良総, 杉本理恵, 古川正幸. 高齢者膵癌に対する内視鏡リスクと治療成績の検討. 第 102 回日本消化器病学会九州支部例会. 2013.11.08-2013.11.09: 宮崎
21. 藤森 尚, 河辺 颯, 寺松克人, 原田直彦, 中牟田 誠, 伊藤鉄英. シンポジウム. 切除不能膵癌に対する新規化学療法 Gemcitabine+erlotinib 併用療法の有用性. 第 100 回 日本消化器病学会九州支部例会 2013.11.2 鹿児島
22. 30. 五十嵐久人, 伊藤鉄英. シンポジウム. 日本人の進行性膵神経内分泌腫瘍患者に対するエベロリムス療法の有効性と安全性. 第 100 回 日本消化器病学会九州支部例会 2013.11.2 鹿児島
23. 河辺 颯, 五十嵐久人, 伊藤鉄英. ワークショップ. 切除不能進行膵癌の集学的治療における膵内外分泌機能障害 (膵性糖尿病, 消化吸収障害) の管理の重要性. 第 100 回 日本消化器病学会九州支部例会 2013.11.2 鹿児島
24. 三木正美, 李 倫學, 五十嵐久人, 立花雄一, 内田匡彦, 植田圭二郎, 藤山隆, 脇岡真之, 新名雄介, 相島慎一, 秋本亮一, 田中雅夫, 高柳涼一, 伊藤鉄英. 反復性膵炎の原因検索中に診断し得た微小主膵管型 IPMN 由来浸潤癌の 1 例. 第 102 回 日本消化器病学会九州支部例会 2013.11.8-9 宮崎
25. 澤村紀子, 小副川 敬, 久保宏明, 脇岡真之, 新名雄介, 麻生 暁, 伊原栄吉, 五十嵐久人, 中村和彦, 伊藤鉄英, 大塚隆生, 田中雅夫, 相島慎一, 小田義直, 高柳涼一. 術前診断に苦慮した膵小細胞癌の 1 例. 第 96 回 日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2013.11.8-9 宮崎
26. 峯 徹哉. 膵癌の現状と今後. 第 54 回神奈川医学会総会. 2013.11
27. 古瀬純司, 弦間昭彦, 羽鳥隆, 市川度, 奥坂拓志, 関頭洋: タルセバ錠 膵癌特定使用成績調査 (全例調査) における 300 例中間結果報告. 一般口演. 第 51 回 日本癌治療学会学術集会. 2013.10.25, 京都
28. 古瀬純司: 局所進行膵癌に対する化学放射線療法の過去・現在・未来. 教育シンポジウム. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013.10.25, 京都
29. 古瀬純司, 奥坂拓志, 猪狩功遺, 伊佐山浩通, 石井浩, 中井陽介, 今井翔悟, 岡村正太, 浜田知久馬: 3 つの無作為化試験(GEST, JACCRO PC-01, GEMSAP)の個別症例 Data を用いた統合解析研究. 一般口演. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013.10.24, 京都
30. 春日章良, 上野秀樹, 池田公史, 成毛

- 大輔、近藤俊輔、光永修一、高須充子、森実千種、清水怜、長島文夫、奥坂拓志、大野泉、高橋秀明、古瀬純司: 日本人膵癌患者に対する ABI-007+ Gemcitabine 療法第 I 相試験. 一般口演. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013.10.24, 京都
31. 池田公史、奥坂拓志、福富晃、井岡達也、大川伸一、伊佐山浩通、古瀬純司、朴成和: 化学療法未治療の遠隔転移を有する膵癌に対する FOLFIRINOX 併用療法の第 II 相臨床試験. 一般口演. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013.10.24, 京都
32. 春日章良、岡野尚弘、成毛大輔、北村浩、高須充子、長島文夫、古瀬純司: ゲムシタビン耐性進行膵癌に対するゲムシタビン定速静注.S-1 併用療法(FGS療法)の検討. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013.10.24, 京都
33. 高須充子、春日章良、成毛大輔、北村浩、岡野尚弘、長島文夫、古瀬純司: 切除不能膵癌に対する GEM.Erlotinib 療法の検討. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013.10.24, 京都
34. 池田公史、佐藤暁洋、望月伸夫、豊崎佳代、三好千香、光永修一、清水怜、長谷川裕美、野村尚吾、大窪敏樹、与茂田敏、岸野吏志、江角浩安. ゲムシタビンに不応の膵癌患者に対する GBS-01 の第 I 相臨床試験 第 51 回日本癌治療学会学術集会 2013.10.24 京都市
35. 桑原明子、篠原旭、小林美沙樹、奥山浩之、高橋秀明、大野泉、清水怜、光永修一、船崎秀樹、奥坂拓志、池田公史. 進行膵癌に対するエルロチニブ併用ゲムシタビン療法の治療成績-東病院での検討- 第 51 回日本癌治療学会学術集会 2013.10.25 京都市
36. 高橋進一郎、小西大、池田公史、大野泉、河島光彦、小林達司、小嶋基寛. Borderline resectable 膵癌に対する集学的治療 第 51 回日本癌治療学会学術集会 2013.10.25 京都市
37. 林秀行、近藤俊輔、柴知史、森実千種、池田公史、上野秀樹. 転移性膵がんの短期生存例の検討. 第 51 回日本癌治療学会学術集会 2013.10.25,京都市
38. 小室泰司、上野誠、奥坂拓志、伊佐山浩通、福富晃、池田公史、水野伸匡、福澤謙吾、兵頭一之介、朴成和. ゲムシタビン耐性膵癌患者を対象とした S-1.LV と S-1 のランダム化第 II 相試験 第 51 回日本癌治療学会学術集会 2013.10.24,京都市
39. 小室泰司、上野誠、奥坂拓志、伊佐山浩通、福富晃、池田公史、水野伸匡、福澤謙吾、兵頭一之介、朴成和.ゲムシタビン耐性膵癌患者を対象とした S-1.LV と S-1 のランダム化第 II 相試験.第 51 回日本癌治療学会学術集会、2013.10.、京都.
40. 今岡 大、清水 泰博、佐野 力、千田 嘉毅、大澤 高陽、脇岡 範、原 和生、水野伸匡、山雄 健次.当院における膵癌の術後補助化学療法の治療成績.第 51 回日本癌治療学会学術集会、2013.10、京都
41. 今岡 大、水野伸匡、脇岡 範、原 和生、田近 正洋、田中 努、石原 誠、永塩 美邦、関根 匡成、清水 泰博、丹羽 康正、山雄 健次.当院での切除不能進行膵癌に対する化学療法の成績 -GEM と erlotinib 併用療法を中心に -.第51回日本癌治療学会学術集会、2013.10,京都
42. 須藤研太郎、多田泰久、平田信人、小澤文明、大島忠、畔元亮作、志村謙次、仁平武、西野隆義、中川彰彦、中村和貴、石原武、中路聡、横須賀收、山口武人. 切除不能進行膵癌に対する Gemcitabine+S-1 療法 vs Gemcitabine 療法の無作為化比較試験. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013.京都.
43. 須藤研太郎、中村和貴、傳田忠道、広中秀一、原太郎、三梨桂子、鈴木拓人、相馬寧、喜多絵美里、新井裕之、中村奈海、杉田統、辻本彰子、山口武人. 切除進行膵癌に対するゲムシタビン+ エルロチニブ療法の使用経験. 第 51 回日本癌治療学会学術集会. 2013,京都.
44. 福富晃、局所進行膵癌: 化学療法 vs. 化学放射線療法、第 51 回日本癌治療学会、2013,京都
45. 中釜斉、戸塚ゆ加里、三牧幸代、中森正二、鈴木穰、柴田龍弘、落合淳志、

- 土原一哉. 1,2-DCP,DCM 曝露歴のある印刷工胆管癌に認められた高頻度ゲノム変異 第 72 回 日本癌学会学術総会 2013.10.3-5,横浜市
46. 石野孔輔、戸塚ゆ加里、松島芳隆、鰐淵英機、魏 民、山野 莊太郎、中森正二、柴田龍弘、土原一哉、落合淳志、中釜斉. 職業性胆管がんの原因候補物質であるハロゲン系炭化水素由来の DNA 付加体及び変異原生の解析 第 72 回 日本癌学会学術総会 2013.10.3-5,横浜市
47. 田口裕紀子、宮本敦史、浅岡忠史、増田慎三、平尾素宏、高見康二、関本貢嗣、中森正二. 腫瘍倍加速度からみた膵癌長期生存例の検討 第 72 回 日本癌学会学術総会 2013.10.3-5,横浜市
48. 宮本敦史、浅岡忠史、山本和義、池永雅一、宮崎道彦、池田正孝、平尾素宏、藤谷和正、関本貢嗣、中森正二. 膵切除が体組成に及ぼす影響に関する検討 第 11 回 日本消化器外科学会大会 (JDDW2013) 2013.10.11-12,東京
49. 清水泰博、上坂克彦、福富晃、朴成和、金本秀行、小西大、松本逸平、金岡祐次、中森正二、坂本裕彦、森永聡一郎. JASPAC 01 の結果と膵癌術後補助療法の今後の展望 第 51 回 日本癌治療学会学術集会 2013.10.24-26,京都市
50. 田口裕紀子、宮本敦史、浅岡忠史、原口直紹、山本和義、三宅正和、西川和宏、宮崎道彦、池田正孝、平尾素宏、関本貢嗣、中森正二. 倍加速度からみた再発膵癌無治療長期生存例の検討 第 51 回 日本癌治療学会学術集会 2013.10.24-26,京都市
51. 宮本敦史、浅岡忠史、原口直紹、山本和義、三宅正和、西川和宏、宮崎道彦、池田正孝、平尾素宏、関本貢嗣、中森正二. 超高齢膵癌症例に対する外科的治療の適応に関する検討 第 51 回 日本癌治療学会学術集会 2013.10.24-26,京都市
52. 上杉和寛、松本俊彦、西出憲史、梶原猛史、浅木彰則、仁科智裕、堀伸一郎、井口東郎、灘野成人. GEM 少量投与で治療効果がみられた膵癌の 1 例. 第 51 回 日本癌治療学会学術集会 2013.10.24-26,京都市
53. 井岡達也、片山和宏、石田伸子、高田良司、山井琢陽、福武伸康、蘆田玲子. ゲムシタピンまたは S-1 不応の切除不能膵癌に、ゲムシタピン+エルロチニブは有効か? 第 51 回 日本癌治療学会学術集会. 2013.10.24 (京都市)【一般】
54. 木田光広: A NEWLY DESIGNED PROTOTYPE of SHORT SBE for ERCP in PATIENTS WITH SURGICALLY ALTERED ANATOMY, UEGW2013, 2013.10.14, ドイツ・ベルリン
55. 古瀬純司: 膵臓がんの診断と治療 (化学療法を含めて). JDDW2013 教育講演 消化器癌のサーベイランス. 2013.10.11, 東京
56. 亀田亮、安藤知子、小林智、上野誠、大川伸一: 進行膵癌の全身化学療法における内視鏡的十二指腸ステントの役割 JDDW2013 2013.10.12 品川プリンスホテル、東京
57. 奥坂拓志、森実千種、池田公史. 胆道癌・消化器神経内分泌腫瘍に対する分子標的薬—最近の動向. (シンポジウム 15: 消化器癌に対する分子標的治療薬—最近の動向 消 S15-6 指) (日本消化器病学会雑誌,110,臨時増刊号(第 55 回大会),A625,2013.) 第 55 回日本消化器病学会大会. 2013.10.9-12,東京都
58. 山内 浩史,木田光広, 徳永 周子, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和三郎: Roux-en-Y 再建腸管に対する受動彎曲・高伝達挿入部付き Short type Single Balloon Enteroscope の有用性, 第 86 回 日本消化器内視鏡学会, 2013.10.12, 東京, Gastroenterological Endoscopy, 55 卷 Suppl.2 Page2915(2013.09).
59. 須藤 研太郎,横井 左奈,山口武人. 切除不能膵癌における EUS FNA 検体を用いた網羅的ゲノム解析による個別化治療確立の試み. 第 86 回日本消化器内視鏡学会総会. 2013.. 東京.
60. 平山敦 長川達哉 宮川宏之.W23(ワークショップ)、胆膵内視鏡のトラブルシューティング 《ビデオ》. 膵臓癌上部消化管狭窄に対する内視鏡的十二指腸

- 腸ステント術のトラブルシューティング主催：消化器内視鏡学会,2013.10.1, 東京.
61. 古瀬純司: 膵がん化学療法の最新情報。ーガイドライン改訂を踏まえてー。ブラックファーストセミナー2. JDDW2013. 第44回日本消化吸収学会総会. 2013.10.09, 東京
 62. 五十嵐久人、大野隆真、新名雄介、脇岡真之、内田匡彦、李 倫學、植田圭二郎、高岡雄大、伊藤鉄英. 外来BOT導入が体重減少改善に有効であった切除不能膵癌の2症例：膵癌患者における血糖コントロールの意義.第21回JDDW（消化吸収学会） 2013.10.9-12 東京
 63. 久野晃聖、杉本理恵、古川正幸. 膵全摘術後患者における消化酵素剤による栄養管理. 第44回日本消化吸収学会総会. 2013.10.09-2013.10.12：東京
 64. 安藤知子、亀田亮、小林智、上野誠、大川伸一：膵臓癌における当院のタルセバの使用経験 JDDW2013 2013.10.9 品川プリンスホテル、東京
 65. 今岡大、水野伸匡、山雄健次.切除不能進行膵癌に対する GEM+erlotinib 併用化学療法における、皮疹の治療効果予測因子としての検討 ー当院での治療成績とメタアナリシスー.パネルディスカッション15「進行膵癌に対する集学的治療の標準化に向けて」JDDW2013、2013.10.東京
 66. Matsuyama M, Todaka A, Nakamori S, Ikedo M, Furuse J, Hara H, Okuno T, Okusaka T, Ishii H, Yamanaka T, Boku N, Fukutomi A: JASPAC 03: A phase II study of S-1 plus leucovorin as first-line treatment for metastatic pancreatic cancer. United European Gastroenterology Week 2013. 2013.10.12-16, Berlin.
 67. Masato Matsuyama, Akiko Todaka, Syoji Nakamori, Masafumi Ikeda, Junji Furuse, Hiroki Hara, Tatsuya Okuno, Takuji Okusaka, Hiroshi Ishii, Takeharu Yamanaka, Narikazu Boku, AkirA. Fukutomi, JASPAC 03: A Phase II study of S-1 plus Leucovorin as first-line treatment for metastatic pancreatic cancer、UEG Week.2013.Berlin
 68. Furuse J: Current status and future directions of chemotherapy for gastric and pancreatic cancers in Japan. Special Lecture 8. Taiwan Digestive Disease 2013.10.6, Week 2013. Taipei
 69. 池田公史、佐藤暁洋、望月伸夫、豊崎佳代、三好千夏、光永修一、清水怜、長谷川裕美、野村尚吾、大窪敏樹、与茂田敏、岸野吏志、江角浩安. ゲムシタビン不応.不耐の膵癌患者に対する GBS-01 の第I相臨床試験 第72回日本癌学会学術総会 2013.10.05 横浜市
 70. 河辺 颯、藤森 尚、伊藤鉄英.ワークショップ7.進行膵癌の集学的治療における膵性糖尿病および消化吸収障害の治療の重要性.第21回 JDDW（消化器病学会） 2013.10.9-12 東京
 71. 藤森 尚、河辺 颯、寺松克人、原田直彦、中牟田 誠、伊藤鉄英.当科における切除不能膵癌に対する一次治療の現況.第21回 JDDW（第55回消化器病学会大会） 2013.10.9-12 東京
 72. 中村聡明. 膵癌術前化学放射線療法における至適照射範囲の考察. 第8回膵癌術前治療研究会 2013.10.13日、東京
 73. Okusaka T, Ikari T, Isayama H, Furuse J, Ishii H, Nakai Y, Imai S, Okamura S, Hamada C: efficacy and safety of Gemcitabine plus S-1 treatment in locally advanced and metastatic pancreatic cancer: A pooled analysis of three randomized trials using updated individual patient data. The European Cancer Congress 2013. abstr 2595. 2013.9.30, Amsterdam
 74. Okusaka T, Furuse J, Gemma A, Hatori T, Ichikawa W, Seki A: Safety profile of erlotinib in a Japanese post-marketing surveillance study of pancreatic cancer patients (pts): Interim analysis of the first 313 pts of 855 pts enrolled. The European Cancer Congress 2013. abstr 2615, 2013.9.30, Amsterdam
 75. Kasuga A, Okano N, Naruge D, Kitamura H, Takasu A, Nagashima F, Furuse J: Salvage chemotherapy of fixed dose rate gemcitabine and S-1 combination therapy (FGS) for gemcitabine-refractory advanced pancreatic cancer. The European Cancer Congress 2013. abstr 2641. 2013.9.30, Amsterdam

76. T. Okusaka, M. Ueno, Y. Omuro, H. Isayama, A. Fukutomi, M. Ikeda, A. Fukutomi, K. Fukuzawa, I. Hyodo, N. Boku. Randomized phase II study comparing S-1 plus Leucovorin(SL) versus S-1 alone in patients with gemcitabine-refractory advanced pancreatic cancer (APC). 17th ECCO-38thESMO-32nd ESTRO European Cancer Congress 27 September-1October Amsterdam 2013
77. H. Ueno, T. Ioka, S. Ohkawa, M. Ikeda, T. Shimamura, A. Tsuji, Y. Tsuchiya, T. Okusaka T. Yoshida, Y. Sato. SLC01B1 gene single nucleotide polymorphism is a drug response marker for pancreatic cancer patients treated with gemcitabine. 17th ECCO-38thESMO-32nd ESTRO European Cancer Congress 27 September-1October Amsterdam.2013
78. 佐々木満仁、濱口哲弥、森実千種、後藤慶子、山田康秀、島田安博、近藤俊輔、上野秀樹、奥坂拓志、谷口浩和、平岡伸介、久嶋亮治. 肝転移を有する切除不能消化器神経内分泌腫瘍に対する内科的治療の検討。(ポスターセッション 2) 膵・遠隔転移治療 P2-5) 第1回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会. 2013.9.28日. 於:京都市
79. 上杉和寛、松本俊彦、浅木彰則、灘野成人、井口東郎. 膵神経内分泌腫瘍に対する核医学治療 (PRRT) :症例報告. 第1回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 2013.9.28日、京都.
80. 五十嵐久人、伊藤鉄英. シンポジウム. 肝転移を有する神経膵内分泌腫瘍の治療方針第1回 日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 2013.9.28 京都
81. 植田圭二郎、新名雄介、肱岡真之、李倫學、立花雄一、三木正美、藤山 隆、内田匡彦、五十嵐久人、相島慎一、田中雅夫、伊藤鉄英. 神経膵内分泌腫瘍と十二指腸 GIST が合併した1症例. 第1回 日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 2013.9.28 京都
82. 山内 浩史, 木田光広, 三島 孝仁, 徳永 周子, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊地 秀彦, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和二郎: 術後再建腸管に対する Short type Single Balloon Enteroscope(SBE) を用いた ERCP の使用経験と従来型との比較, 第 49 回日本胆道学会学術集会, 2013.9.19, 千葉, 胆道, 27 卷 3 号 Page470(2013.08).
83. 桑原明子、池田公史、奥山浩之、高橋秀明、大野泉、清水怜、光永修一、本多正幸、小西大、小嶋基寛. エルロチニブ併用ゲムシタビン療法が奏効し切除可能となった進行膵癌の一例 日本消化器病学会 関東支部第 326 回例会 2013.09.14 東京
84. 木田光広: EUS, EUS-FNA for Upper GI, 第 1 1 回 Mumbai Endoscopy Live, 2013.9.6, インド・ムンバイ
85. Nobumasa Mizuno, Yoshikuni Nagashio, Kenji Yamao. Diagnostic performance of cyst fluid analysis and cytology in pancreatic cystic lesions. Symposium IX: Controversies in Clinical Pancreatology I: Pancreatic Cystic Disease. Joint Meeting of the International Association of Pancreatology and the Korean Pancreatobiliary Association 2013, Seoul, Kore, September 2013.
86. 木田光広: 治療現場最前線 北里大学医学部消化器内科学 (胆膵グループ), 膵・胆道癌, FRONTIER, 2013.9, 3(2):24-27.
87. 古瀬純司:膵がん化学療法の最新情報ーガイドライン改訂を踏まえて. モーニングセミナー. 第 11 回日本臨床腫瘍学会. 2013.8.29, 仙台市
88. 上野誠、森田智、小林智、大川伸一、亀田亮、杉森一哉、金子卓、三輪治生、田中克明、田栗正隆: Randomized phase II study of gemcitabine with an EPA-riched oral supplement in advanced pancreatic cancer 第 11 回日本臨床腫瘍学会 仙台国際センター、仙台、2013.8.31
89. 五十嵐久人、奥坂拓志、伊藤鉄英、西田俊朗、橋垣 学、木村信之、大木恵美子、澤木 明、山雄健次、今村正之. Phase II study of sunitinib (SU) in Japan patients with well-differentiated pancreatic neuroendocrine tumor (NET). Poster Session 45.PS45: Nevel anti-cancer drugs 2.新規抗がん剤② 第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2013.8.29 日-31 日.

- 於：宮城県仙台市
90. 今岡大、水野伸匡、肱岡範、原和生、田近正洋、田中努、品川秋秀、坂口将文、丹羽康正、山雄健次. 膵腺房細胞癌の画像的特徴. 第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会、2013.8.、仙台.
 91. 肱岡範、水野伸匡、原和生、今岡大、田近正洋、田中努、丹羽康正、山雄健次. アフィニトールによる間質性肺炎を惹起するも再開継続できている膵内分泌腫瘍の 1 例. 第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会、2013.8.、仙台.
 92. Maeda A, Uesaka K, Fukutomi A, Boku N, Kanemoto H, Konishi M, Matsumoto I, Shimizu Y, Nakamori S, Sakamoto H. JASPAC 01: Randomized phase III trial of adjuvant chemotherapy with gemcitabine vs S-1 for resected pancreatic cancer. 第 11 回 日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2013) 2013.8.29 日-31 日 仙台市
 93. 伊藤鉄英、五十嵐久人、RT Jensen. 教育講演 8 内分泌癌：膵内分泌腫瘍に対する分子標的薬. 第 11 回 日本臨床腫瘍学会学術集会 2013.8.29-31 仙台
 94. 五十嵐久人、奥坂拓志、伊藤鉄英、西田俊朗、橋垣 学、木村信之、大木恵美子、澤木 明、山雄健次、今村正之. Phase II Study of Sunitinib(SU) in Japanese Patients with Well-differentiated Pancreatic Neuroendocrine Tumor(NET). 第 11 回 日本臨床腫瘍学会学術集会 2013.8.29-31 仙台
 95. 篠原旭、奥山浩之、小林美沙樹、船崎秀樹、高橋秀明、大野泉、清水怜、光永修一、池田公史、和泉啓司郎. 進行膵癌における Gemcitabine+Erlotinib 療法による皮膚障害に対するミノサイクリン予防内服の有効性の検討 第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2013.8.29 仙台市
 96. 三浦智史、光永修一、清水怜、大野泉、高橋秀明、奥山浩之、桑原明子、池田公史. Characterization of patient with high serum level of IL-6 in advanced pancreatic cancer. 第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2013.8.29 仙台市
 97. 奥山浩之、光永修一、桑原明子、高橋秀明、大野泉、清水怜、池田公史. 進行膵がんにおける塩酸ゲムシタビン療法の有害事象と炎症性サイトカイン・タンパクの関連 第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2013.8.29 仙台市
 98. 田中弘人、光永修一、小林美沙樹、船崎秀樹、高橋秀明、大野泉、清水怜、和泉啓司郎、池田公史. ゲムシタビン耐性進行膵癌に対する S-1 療法の 3 週レジメンの有効性と安全性—6 週レジメンとの比較— 第 11 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2013.08.30 仙台市
 99. 浅岡忠史、宮本敦史、山本和義、原口直紹、三宅正和、西川和宏、宮崎道彦、平尾素宏、池田正孝、関本貢嗣、中森正二. 膵頭十二指腸切除における術後ドレーン感染の検討 第 40 回 日本膵切研究会 2013.8.30-31, 高松市
 100. 木田光広: How to get best your EUS-FNA — Tips & Tricks —, Endoscopy 2013, 2013.8.1-2, バンコック・タイ.
 101. 木田光広, 三島 孝仁, 金子 亨, 山内浩史, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 池田 弘子, 岩井 知久, 菊地 秀彦, 荒木 正雄, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 【消化器疾患における超音波内視鏡検査-現況と将来展望-】 EUS の現況と新展開 超音波内視鏡検査による消化管疾患の診断の現況, 最新医学, 2013.8, 68(8):1698-1704.
 102. 古瀬純司: 膵がん化学療法の最新情報—ガイドライン改訂を踏まえて. ランチョンセミナー 6. 第 44 回日本膵臓学会大会. 2013.7.26, 仙台市
 103. 岩井 知久, 木田光広, 徳永 周子, 山内 浩史, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 竹澤 三代子, 菊池 秀彦, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 充実性腫瘍に対する逆刃付側孔を有する EUS-FNA 針の診断能, 第 44 回日本膵臓学会大会, 2013.7.25, 仙台, 膵臓(0913-0071)28 巻 3 号 Page403(2013.06).
 104. 山内 浩史, 奥脇 興介, 木田光広, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 膵内分泌腫瘍における EUS 所見と組織学的悪性度との対比, 第 44 回日本膵臓学会大会, 2013.7.25, 仙台, 膵臓, 28 巻 3 号

Page376(2013.06).

105. 浅岡忠史、宮本敦史、山本和義、池永雅一、宮崎道彦、大宮英泰、平尾素宏、池田正孝、高見康二、藤谷和正、中森正二、関本貢嗣. 切除不能膵癌に対するバイパス手術の治療成績とその予後 第 44 回 日本膵臓学会大会 2013 . 7.25-26,仙台市
106. 福田泰也、浅岡忠史、宮本敦史、山本和義、宮崎道彦、池永雅一、池田正孝、平尾素宏、藤谷和正、関本貢嗣、中森正二. 当科における膵嚢胞性腫瘍の治療成績の検討 第 44 回 日本膵臓学会大会 2013 . 7.25-26, 仙台市
107. 宮本敦史、浅岡忠史、山本和義、池永雅一、宮崎道彦、池田正孝、平尾素宏、藤谷和正、関本貢嗣、中森正二. 膵頭十二指腸切除が体重および体組成に及ぼす影響 第 44 回 日本膵臓学会大会 2013 . 7.25-26,仙台市
108. 田口裕紀子、宮本敦史、浅岡忠史、中森正二、中水流正一、三田英治、児玉良典、真能正幸. 無治療で長期生存している浸潤性膵管癌の一例 第 44 回 日本膵臓学会大会 2013 . 7.25-26,仙台
109. 上杉和寛、松本俊彦、浅木彰則、灘野成人、井口東郎. 膵内分泌腫瘍に対するソマトスタチンレセプターを標的とした核医学治療：症例報告. 第 44 回 日本膵臓学会大会、2013.7.25-26,仙台.
110. 松本逸平、上坂克彦、福富晃、朴成和、金本秀行、小西大、金岡祐次、清水泰博、中森正二、坂本裕彦.膵癌切除後補助化学療法における塩酸ゲムシタピン療法と S-1 療法の第 III 相比較試験 (JASPAC 01) 第 68 回 日本消化器外科学会総会 2013 . 7.17-19,宮崎市
111. 古川正幸. 術前の CA19-9 値が膵がん術後の予後予測因子の可能性. 第 44 回 日本膵臓学会. 2013.7.25-2013.7.26 : 仙台
112. 久野晃聖、下川雄三、荒武良総、田尻博敬、西山憲一、古川正幸. 酢酸オクトレオチド投与により腹水の減少、腫瘍の縮小を認めた膵癌、腹膜播種の 1 例 . 第 44 回 日本膵臓学会 . 2013.0.25-2013.7.26 : 仙台
113. 須藤研太郎、横井左奈、大平美紀、中村和貴、原太郎、瀬座勝志、傳田忠道、廣中秀一、三梨桂子、鈴木拓人、相馬寧、北川善康、喜多絵美里、中村奈海、稲垣千晶、山口武人. 切除不能膵癌における EUSFNA 検体を用いた網羅的ゲノム解析による個別化治療確立の試み. 第 44 回 日本膵臓学会大会. 2013.. 仙台.
114. 井口東郎. 膵がんの術後補助化学療法. 愛媛肝胆膵外科セミナー 2013.6 .28 日、松山.
115. 古瀬純司: 膵癌化学療法—最新情報と今後の展望. 第 22 回日本消化器病学会 関東支部例会教育講演. 2013.6.23, つくば市
116. 古瀬純司: 膵・胆道癌の化学療法—最新情報と今後の展望. 第 99 回日本消化器病学会 中国支部例会教育講演. 2013.6.16, 岡山市
117. 植田圭二郎、三木正美、藤山 隆、内田匡彦、立花雄一、李 倫學、脇岡真之、新名雄介、五十嵐久人、高柳涼一、伊藤鉄英.BEM+S-1 療法にて癌性腹水が消失した膵癌 StageIVb の 2 症例.第 43 回九州膵研究会.2013.6.20,北九州
118. 伊藤鉄英.シンポジウム.膵・消化管 NET の現況と新規抗腫瘍薬.第 102 回日本病理学会総会 2013.6.6-8,札幌
119. 渡辺 晃識, 木田光広, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和三郎: IPMN に対する経口膵管鏡 POPS の有用性, Progress of Digestive Endoscopy, 2013.6, 82(1):53-55.
120. Makoto Ueno, Shinichi Ohkawa : Nutritional Support for advanced pancreatic cancer. 4th International conference on Cancer Nutrition Therapy The Croatian Academy of Science and Arts, Zagreb, Croatia 2013.5.14-15
121. M. Ikeda, A Sato, N Mochizuki, K Toyosaki, C Miyoshi, R Fujioka, S Mitsunaga, S Shimizu, I Ohno, H Takahashi, H Okuyama, H Hasegawa, S Nomura, T Ohkubo, S Yomoda, S Kishino, H Esumi. A Phase I trial of GBS-01 for advanced pancreatic cancer refractory to gemcitabine. ASCO Annual Meeting 2013. May31-June04,2013. Chicago, IL, U.S.A. (Abstract 2559)

122. Akira Fukutomi, Katsuhiko Uesaka, Narikazu Boku, Hideyuki Kanemoto, Masaru Konishi, Ippei Matsumoto, Yuji Kaneoka, Yasuhiro Shimizu, Shoji Nakamori, Hirohiko Sakamoto, Soichiro Morinaga, Osamu Kainuma, Koji Imai, Naohiro Sata, Shoichi Hishinuma, Takayuki Nakamura, Michio Kanai, Satoshi Hirano, Yukinobu Yoshikawa, Yasuo Ohashi, JASPAC 01: Randomized phase III trial of adjuvant chemotherapy with gemcitabine versus S-1 for patients with resected pancreatic cancer、ASCO.2013.Chicago
123. 奥脇 興介, 木田光広, 徳永 周子, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊地 秀彦, 渡辺 麻也, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 膵内分泌腫瘍における EUS 及び EUS-FNA の有用性の検討, 第 85 回日本消化器内視鏡学会総会, 2013.5.12, 京都,
124. 大塚隆生、田村公二、井手野 昇、安蘇鉄平、河野 博、永吉洋介、伊藤鉄英、五十嵐久人、麻生 暁、牛島泰宏、相嶋慎一、大久保文彦、高畑俊一、上田純二、水元一博、清水周次、田中雅夫.切除可能膵管癌の確定診断に ERCP と EUS-FNA のどちらを先行させるか?第 85 回 日本消化器内視鏡学会総会 2013.5.10-12,京都
125. 升谷 寛以, 奥脇 興介, 木田光広, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 今泉 弘, 片桐 寛之, 隈元 雄介, 渡邊 昌彦, 蔣 世旭, 三上 哲夫, 三枝 信, 小泉 和三郎: EUS-FNA で診断し得た膵原発 PEComa の 1 切除例, 第 85 回日本消化器内視鏡学会総会, 2013.5.10, 京都, Gastroenterological Endoscopy, 55 巻 Suppl.1 Page1157(2013.04).
126. 木田光広: 胆膵内視鏡、EUS、EUS-FNA Tips and Tricks, 第 85 回日本消化器内視鏡学会総会, 2013.5.10, 京都, Gastroenterological Endoscopy, 55 巻 Suppl.1 Page886(2013.04).
127. 古瀬純司: 膵・胆道癌化学療法の最新情報ーエビデンスからプラクティスへ。ランチョンセミナー。第 113 回日本外科学会学術集会. 2013.4.12, 福岡市
128. 伊藤鉄英、五十嵐久人.ワークショップ.日本における膵神経内分泌腫瘍(pNET)の現況と内科的治療.第 113 回 日本外科学会定期学術集会.2013.4.11-13,福岡
129. Furuse J: Combination treatments for pancreatic cancer. Gastrointestinal Cancer Pinnacle I-2. Asian Oncology Summit 2013. 2013.03.24, Bangkok.
130. 古瀬純司: 外科切除可能膵癌: 3. 補助療法. 膵癌診療ガイドライン拡大改訂委員会. 日本膵臓学会. 2013.03.22, 鹿児島市
131. 宮澤 志朗, 木田光広, 奥脇 興介, 岩井 和久, 菊地 秀彦, 竹澤 三代子, 荒木 正雄, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和三郎: 非切除胆膵癌による中下部胆管狭窄に対する Re-Intervention を考慮したメタリックステント選択 Partially covered Wallflex stent と Fully covered Wallflex stent の比較, 第 99 回日本消化器病学会総会, 2013.3.23, 鹿児島. 日本消化器病学会雑誌 110 巻臨増総会 PageA427(2013.02).Gastroenterological Endoscopy 55 巻 Suppl.1 Page1110(2013.04).
132. 五十嵐久人、河辺 颯、伊藤鉄英.シンポジウム当科における進行性膵神経内分泌腫瘍に対するエベロリムスの使用経験.第 99 回日本消化器病学会総会,2013.3.23 鹿児島
133. 李 倫學、新名雄介、伊藤鉄英.シンポジウム.膵癌による悪性十二指腸狭窄・閉塞に対する内視鏡的十二指腸ステンティングの問題点.第 99 回 日本消化器病学会総会 2013.3.23 鹿児島
134. 藤森 尚、河辺 颯、伊藤鉄英、寺松 克人、原田直彦、中牟田 誠.当科における切除不能胆膵癌に対する化学療法の現況.第 99 回 日本消化器病学会総会 2013.3.23 鹿児島
135. 須藤研太郎、山口武人、石原武. 局所進行膵癌に対する化学放射線療法および化学療法を中心とした治療戦略. 第 99 回日本消化器病学会総会. 2013.. 鹿児島.
136. 原太郎、山口武人、石原武. 抗腫瘍療法を前提とした中下部胆道狭窄に対する胆管ステンティング-進行膵癌に対

- する UMS : Uncovered Metallic Stent の有用性-. 第 99 回日本消化器病学会、鹿児島
137. 伊藤鉄英.教育講演会.膵内分泌腫瘍の現況と治療の進歩.第 18 回 日本消化器病学会九州支部教育講演会 2013.3.17 福岡
138. 木田光広、三島孝仁、金子亨、渡邊晃識、徳永周子、山内浩史、奥脇興介、宮澤志朗、岩井知久、池田弘子、荒木正雄、竹澤三代子、菊地秀彦、渡辺摩也、今泉弘、坂口哲章、山田至人、小泉和二郎: ラジアル式 EUS によるアプローチ, 消化器内視鏡, 2013.2, 25(2):267-273.
139. 井口東郎. 膵がんの化学療法: 現状と将来展望. 愛媛肝臓外科研究会 2013.2.2 日、松山.
140. 井口東郎. 膵がんの診断と治療: 最近の知見. 市立宇和島病院市民公開講座 2013.2.2 日、愛媛県宇和島市.
141. Hiroki Yamaue, Masaji Tani, Motoki Miyazawa, Kenji Yamao, Nobumasa Mizuno, Takuji Okusaka, Hideki Ueno, Narikazu Boku, AkirA. Fukutomi, Hiroshi Ishii, Shinichi Ohkawa, Masayuki Furukawa, Hiroyuki Maguchi, Masafumi Ikeda, Kazuto Nishio, Yasuo Ohashi, Takuya Tsunoda. Phase II.III clinical trial with VEGFR2-epitope peptide and gemcitabine for patients with locally advanced, metastatic, or unresectable pancreatic cancer: Pegasus-PC study. ASCO-GI 2013, San Francisco, CA, USA, January 2013.
142. Mizuno N, Yamao K, Komatsu Y, Munakata M, Ishiguro A, Yamaguchi T, Ohkawa S, Kida M, Ioka T, Takeda K, Kudo T, Kitano M, Iguchi H, Tsuji A, Ito T, Tanaka M, Furuse J, Hamada C, Sakata Y. Randomized phase II trial of S-1 versus S-1 plus irinotecan (IRIS) in patients with gemcitabine-refractory pancreatic cancer. (abstract 263). 2013 Gastrointestinal Cancers Symposium, 2013.1.25, San Francisco
143. Katsuhiko Uesaka, AkirA. Fukutomi, Narikazu Boku, Hideyuki Kanemoto, Masaru Konishi, Ipei Matsumoto, Yuji Kaneoka, Yasuhiro Shimizu, Shoji Nakamori, Hirohiko Sakamoto, Soichiro Morinaga, Osamu Kainuma, Koji Imai, Naohiro Sata, Shoichi Hishinuma, Takayuki Nakamura, Michio Kanai, Satoshi Hirano, Yukinobu Yoshikawa, Yasuo Ohashi, Randomized phase III trial of adjuvant chemotherapy with gemcitabine versus S-1 for resected pancreatic cancer patients (JASPAC-01 study) 、 Gastrointestinal Cancers Symposium.2013.San Francisco
144. 伊藤鉄英.生涯教育講演会.膵内分泌腫瘍の現況と治療の進歩.第 47 回九州支部主催生涯教育講演会 2013.1.12 福岡
145. 伊藤鉄英.クリニカルアワー I .臨床の立場から一機能性膵・消化管神経内分泌腫瘍の現状と治療.第 22 回臨床内分泌代謝 Update 2013.1.18 埼玉
146. 木田光広: 【とことん知りたい ERCP の手技のコツ もう迷わない!後方斜視鏡の挿入から、乳頭の観察、深部挿管まで】 コラム 上級者との交代のポイント消化器内視鏡レクチャー, 2013.1, 1(3): 524.
147. 木田光広, 荒木 正雄, 三島 孝仁, 渡邊 晃識, 徳永 周子, 山内 浩史, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊地 秀彦, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和二郎: 【胆膵内視鏡新潮流】膵腫瘍の超音波内視鏡診断 膵疾患に対する EUS-FNA の現況, 肝・胆・膵, 2013.1, 66(1):9-16.
148. 渡辺 晃識, 木田光広, 奥脇 興介, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 渡辺 摩也, 今泉 弘, 小泉 和二郎: IPMN に対する経口膵管鏡 POPS の有用性, 第 95 回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2012.12.8, 東京, Progress of Digestive Endoscopy 82 巻 Suppl. Pages88(2012.12)
149. 奥脇 興介, 三島 孝仁, 徳永 周子, 山内 浩史, 宮澤 志朗, 岩井 知久, 竹澤 三代子, 菊地 秀彦, 渡辺 麻也, 今泉 弘, 木田光広, 小泉 和二郎: 胆膵内視鏡のトラブルシューティング Covered metallic stent 閉塞時の抜去と抜去困難例に対する対応, 第 95 回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 2012.12.8, 東京, Progress of Digestive Endoscopy, 82 巻

- Suppl. Pages72(2012.12).
150. 松井浩史、浅岡忠史、宮本敦史、山本和義、池永雅一、池田正孝、平尾素宏、藤谷和正、関本貢嗣、中森正二 . 当院で経験した膵腺房細胞癌の 2 例 第 192 回 近畿外科学会 . 2012 . 11 . 24 - 24, 大阪市
 151. 山下雅史、浅岡忠史、宮本敦史、中森正二 . 子宮体癌術後、十二指腸転移に対して膵頭十二指腸切除術を施行し切除し得た 1 例 第 74 回 日本臨床外科学会総会 . 2012 . 11 . 29 - 1, 東京
 152. 田口裕紀子、宮本敦史、中森正二、浅岡忠史、山本和義、安井昌義、池永雅一、宮崎道彦、平尾素宏、藤谷和正、辻仲利政 :胆嚢癌、膵体尾部癌術後に異時発生し、無治療で長期生存している膵癌の一例 . 第 74 回 日本臨床外科学会総会 . 2012 . 11 . 29 - 1, 東京
 153. 古瀬純司: 化学療法の位置づけと将来展望. シンポジウム 6 膵がんの治療戦略. 第 25 回日本放射線腫瘍学会学術大会. 2012.11.25. 東京
 154. 五十嵐久人、伊藤鉄英: シンポジウム 日本人の進行性膵神経内分泌腫瘍患者に対するエベロリムス療法の有効性と安全性. 第 100 回 日本消化器病学会九州支部例会 2012.11.2 鹿児島
 155. 李 倫學、五十嵐久人、高岡雄大、植田圭二郎、内田匡彦、脇岡真之、中村太一、大野隆真、上田純二、進藤幸治、相島慎一、伊藤鉄英、田中雅夫、高柳涼一:慢性膵炎に合併した膵管狭窄の経過中に診断し得た Stage0 膵癌の一例. 第 100 回 日本消化器病学会九州支部例会 2012.11.2, 鹿児島
 156. 古瀬純司: Meet the Professor. 膵臓がん. Patient advocacy lounge. 第 50 回日本癌治療学会学術集会. 2012.10.26. 横浜市
 157. 古瀬純司: 外科切除可能膵癌: 3. 補助療法. 膵癌診療ガイドライン「公聴会」. 第 50 回日本癌治療学会学術集会. 2012.10.25. 横浜市
 158. 小林美沙樹、奥山浩之、船崎秀樹、桑原明子、高橋秀明、大野泉、清水怜、光永修一、池田公史、市田泰彦、和泉啓司郎. 80 歳以上の高齢者の切除不能膵癌症例に対するゲムシタピン療法の有効性と忍容性 第 50 回日本癌治療学会学術集会 2012.10.25 横浜
 159. 奥坂拓志. 症例検討パネルディスカッション 10. 症例 (膵がん). Discussant 第 50 回日本癌治療学会学術集会. 2012.10.25 - 27. 於: 横浜市
 160. 奥坂拓志 シンポジウム 28 膵がん化学療法の新しい展開. 司会. 第 50 回日本癌治療学会学術集会. 2012.10.25 - 27. 於: 横浜市
 161. 奥坂拓志 膵神経内分泌腫瘍における mTOR 阻害剤の臨床での役割 (イブニングセミナー 6) 第 50 回日本癌治療学会学術集会. 2012.10.25 - 27. 於: 横浜市
 162. 奥坂拓志 ポスターディスカッション 19 肝胆膵薬物療法. レビューワー. 第 50 回日本癌治療学会学術集会. 2012.10.25 - 27. 於: 横浜市
 163. 彦坂 ともみ, 戸高 明子, 福富晃, 吉田 幸生, 船越 太郎, 田伏 弘行, 濱内 諭, 對馬 隆浩, 横田 知哉, 町田 望, 山崎 健太郎, 盛 啓太, 小野澤 祐輔, 朴 成和, 安井 博史, 切除不能膵癌の一次治療(GEM)開始時における二次治療適応予測因子についての検討, 第 50 回日本癌治療学会, 2012、横浜
 164. 杉本理恵、田尻博敬、荒武良総、下川雄三、久野晃聖、古川正幸. 良好な予後が得られた膵癌、胆嚢癌肝転移に対するラジオ波治療 2 症例の検討. 第 50 回日本癌治療学会学術集会 . 2012.10.25-2012.10.27 : 横浜
 165. 上野 誠、小林智、亀田亮、安藤知子、大川伸一: 膵癌におけるゲムシタピン + エルロチニブ療法経験. 第 50 回日本癌治療学会、2012.10.25、パシフィコ横浜、横浜
 166. 須藤研太郎、横井左奈、大平美紀、中村和貴、原太郎、鈴木拓人、廣中秀一、三梨桂子、相馬寧、傳田忠道、北川善康、喜多絵美里、味八木寿子、稲垣千晶、山口武人. 切除不能進行膵癌における網羅的ゲノム解析による個別化療法の確立の試み. 第 50 回日本癌治療学会学術集会. 2012.10. 横浜.
 167. 福田泰也、宮本敦史、中森正二、浅岡忠史、山本和義、池永雅一、池田正孝、

- 平尾素宏、藤谷和正、関本貢嗣．浸潤性膵管癌根治切除術後の残膵癌に対して膵切除を行った一例．第 18 回 膵癌治療を考える会．2012．10．19－19，大阪市
168. Toki M, Furuse J, Takahashi S: Collaboration between oncologists and endoscopists in advanced pancreatic and biliary tract cancers. シンポジウム 17. Role of oncologists and endoscopists in the management of biliary tract and pancreatic disease. 第 84 回日本消化器内視鏡学会総会. 2012.10.12, 神戸市
169. 久野晃聖、藤山隆、杉本理恵、奥村幸彦、古川正幸．局所進行膵がんにおける予後規定因子についての検討．第 54 回日本消化器病学会大会．2012.10.10-2012.10.13：神戸
170. 亀田亮、安藤知子、小林智、上野誠、大川伸一：進行膵癌の全身化学療法における内視鏡的十二指腸ステントの検討．JDDW2012、2012.10.13、神戸国際会議場、神戸
171. Okusaka T, Ohkawa S, H Isayama, A. Fukutomi, K Yamaguchi, M. Ikeda, A Funakoshi, M Nagase, S Nakamori, Y Hamamoto : Randomized Phase II Trial of S-1 Versus S-1 plus Oxaliplatin (SOX) in Patients With Gemcitabine Refractory Pancreatic Cancer. ESMO2012、2012.9.30、AUSTRIA CENTER VIENNA、Vienna, Austria
172. 田口裕紀子、宮本敦史、浅岡忠史、中森正二、中水流正一、三田英治、児玉良典、真能正幸．胆嚢癌、膵体尾部癌術後に発生し、無治療で長期生存している膵鉤部癌の一例 第 61 回 近畿膵疾患談話会．2012．9．29－29,大阪市
173. 井口東郎．新しい時代を迎えた骨転移の診断と治療．第 44 回日本臨床分子形態学会総会 2012.9.29,高知.
174. 奥坂拓志．Neuroendocrine Tumor: Molecular-target therapy for PNET (EL19) 神経内分泌腫瘍：PNET に対する分子標的療法 第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会．2012.7.26－28,大阪市
175. 奥坂拓志．(教育講演)「内分泌腫瘍：PNET に対する分子標的療法」Endocrine Tumor: Molecular-targeting therapy for PNET」第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会．2012.7.26－28 日,大阪市
176. 森実千種、上野秀樹、近藤俊輔、光永修一、清水 怜、大野 泉、高橋秀明、山口智宏、坂本康成、奥坂拓志．遠隔転移を有する膵内分泌腫瘍の初回化学療法例に対するゲムシタビンの第Ⅱ相試験(OS26 肝胆膵がん②O3-006) 第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会．2012.7.26－28 日,大阪市
177. 深堀理、近藤俊輔、上野秀樹、清水 怜、光永修一、池田公史、山口智宏、坂本康成、森実千種、奥坂拓志．手術不能進行膵癌に対する一次治療 S-1 不応後の二次治療ゲムシタビンの効果についての後方視検討 (OS26 肝胆膵がん②O3-004) 第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会．2012.7.26－28,大阪市
178. Charles Fuchs , Masafumi Ikeda, Takuji Okusaka, Shinichi Ohkawa, Nobumasa Mizuno, Vincent Haddad, Jesse McGreivry, David Chang, : A phase 3 trial of ganitumab with gemcitabine as first-line treatment of metastatic pancreatic cancer: a safety update from the GAMMA trial. 第 10 回日本臨床腫瘍学会、2012.7.26、大阪国際会議場、大阪
179. 桑原明子、光永修一、清水怜、大野泉、高橋秀明、奥山浩之、池田公史．肝転移を有する膵腺房細胞癌に対しゲムシタビン塩酸塩と S-1 併用療法を行った 2 例．第 320 回 日本消化器病学会関東支部例会 2012.7.7 東京
180. 三浦智史、光永修一、松元信弘、中里雅光、大野泉、清水怜、高橋秀明、奥山浩之、桑原明子、池田公史．膵がん化学療法において治療前デスアシルグレリン値は消化器症状の予測因子である．第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会．2012.7.28,大阪
181. 光永修一、池田公史、大野泉、清水怜、高橋秀明、奥山浩之、桑原明子、奥坂拓志、上野秀樹、森実千種、近藤俊輔、落合淳志．進行膵がんにおける腹腔動脈および上腸間膜動脈周囲浸潤の臨床的意義．第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会．2012.7.28 ,大阪

182. 田中弘人、光永修一、小林美沙樹、船崎秀樹、市田泰彦、高橋秀明、大野泉、清水怜、池田公史、和泉啓司郎. 進行膵がん患者に対する2次化学療法としてのS-1療法の早期中止に関わる因子解析. 第10回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2012.7.27, 大阪
183. 山上裕機、宮澤基樹、水野伸匡、奥坂拓志、福富晃、石井浩、大川伸一、古川正幸、真口宏介、池田公史、西尾和人、大橋靖雄、角田卓也. 切除不能膵癌に対するペプチドワクチン療法—第II. III相臨床試験: PEGASUS-PC試験について—. 第10回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2012.7.26, 大阪
184. Charles Fuchs, Masafumi Ikeda, Takuji Okusaka, Shinichi Ohkawa, Nobumasa Mizuno, Vincent Haddad, Jennifer L. Gansert, David Chang: A phase III trial of ganitumab with gemcitabine as first-line treatment of metastatic pancreatic cancer: a safety update from the GAMMA trial.. 第10回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012.(大阪)
185. Hiroki Yamaue, Motoki Miyazawa, Nobumasa Mizuno, Takuji Okusaka, Akira Fukutomi, Hiroshi Ishii, Shinichi Ohkawa, Masayuki Furukawa, Hiroyuki Maguchi, Masafumi Ikeda, Kazuto Nishio, Yasuo Ohashi, Takuya Tsunoda: A multicenter, randomized, placebo-controlled, double-blind trial with VEGFR2-epitope peptide and gemcitabine for patients with locally advanced, metastatic, or unresectable pancreatic cancer: PEGASUS-PC study. 第10回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012.(大阪)
186. 今岡大、山雄健次、脇岡 範、原 和生、水野伸匡、田中 努、近藤真也、田近正洋、小倉 健、大林友彦、清水泰博、丹羽康正: 膵腺扁平上皮癌における予後の比較検討. 第10回日本臨床腫瘍学会, 2012.(大阪)
187. 武岡奉均、宮本敦史、中森正二、浅岡忠史、安井昌義、池永雅一、平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政. 膵頭十二指腸切除術における SSI の危険因子に関する検討 第67回日本消化器外科学会総会. 2012.7.18-20, 富山市
188. 井口東郎. 膵癌治療の現状と今後の展望. 第8回実地医家消化器病研究会 2012.7.10, 高松.
189. Ohta K, Tanada M, Iguchi H. Differential Diagnosis between benign or malignant intraductal papillary mucinous neoplasms (IPMNs) by Contrast-enhanced PET-CT. 10th world congress of International Hepato-Biliary- Pancreatic Surgery. Jul 1-5, Paris, France, 2012
190. Charles Fuchs, Ikeda M, Gyorgy Bodoky, Okusaka T, Ohkawa S, Mizuno N, Anna Swieboda-Sadlej, Alberto Sobrero, Vincent Haddad, Jesse McGreiv: A phase III trial of ganitumab (GAN, AMG 479) with gemcitabine (G) as first-line treatment (tx) in patients (pts) with metastatic pancreatic cancer (MPC): An analysis of safety from the GAMMA trial (GEM and AMG 479 in Metastatic Adenocarcinoma of the Pancreas).. ASCO 2012, 2012.(Chicago, USA)
191. 杉森一哉、奥坂拓志、福富晃、上野秀樹、井岡達也、大川伸一、朴成和、山雄健次、水元一博、古瀬純司、船越頭博、羽鳥隆、山口武人、江川新一、佐藤温、大橋靖雄、田中雅夫、GEST study group: GEST 試験 (膵癌の第III相試験) の追跡調査結果報告. シンポジウム 3 通常型膵癌の治療戦略. 第43回日本膵臓学会大会. 2012.6.28, 山形市
192. 古瀬純司、大東弘明、中郡聡夫、菅野敦、中村聡明、上坂克彦、奥坂拓志、山口幸二: 膵癌切除の補助療法. 膵癌診療ガイドライン公聴会. 第43回日本膵臓学会大会. 2012.6.28, 山形市
193. 奥坂拓志、木原康之、伊藤鉄英、古瀬純司、上坂克彦、山口幸二: 化学療法. 膵癌診療ガイドライン公聴会. 第43回日本膵臓学会大会. 2012.6.28, 山形市
194. 上野 誠、大川伸一、安藤知子、小林智、亀田亮: 膵癌化学療法における炎症反応を考慮した FDG-PET の予後予測の有用性. 第43回日本膵臓学会, 2012.6.29, ホテルメトロポリタン山形, 山形
195. 井岡達也、有本伸子、蘆田玲子、片山和宏、中村聡明、西山謹司、高橋秀典、大東弘明、石川治. 切除不能局所進行膵癌に対する治療戦略: ゲムシタピン

- および S-1 併用化学放射線療法. 日本膵臓学会. 2012.6.29 (山形市)【一般】
196. 宮本敦史、中森正二、浅岡忠史、山本和義、安井昌義、池永雅一、宮崎道彦、平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政 . 高齢者膵癌症例に対する膵切除術の適応に関する検討 . 第 43 回日本膵臓学会大会 . 2012 . 6 . 28-29, 山形市
 197. 浅岡忠史、宮本敦史、山本和義、安井昌義、大宮英泰、池永雅一、宮崎道彦、平尾素宏、高見康二、藤谷和正、三嶋秀行、中森正二、辻仲利政 . 膵頭十二指腸切除術におけるクリニカルパス導入の意義 . 第 43 回日本膵臓学会大会 . 2012 . 6 . 28 - 29, 山形市
 198. 武岡奉均、宮本敦史、中森正二、浅岡忠史、安井昌義、池永雅一、平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政 . 膵頭十二指腸切除後の手術部位感染に関する検討 . 第 43 回日本膵臓学会大会 . 2012 . 6 . 28-29, 山形市
 199. 須藤研太郎、山口武人、横井左奈、大平美紀、中村和貴、原太郎、廣中秀一、三梨桂子、相馬寧、北川善康、中村奈海、傳田忠道 . 切除不能進行膵癌における網羅的ゲノム解析による個別化治療確立の試み. 第 43 回日本膵臓学会大会. 2012.. 山形.
 200. 須藤研太郎、山口武人、中村和貴、原太郎、廣中秀一、三梨桂子、傳田忠道、北川善康、中村奈海、貝沼修、趙明浩、山本宏、多田素久、三方林太郎、太和田勝之、石原武、横須賀收. 局所進行膵癌に対する治療戦略. 第 43 回日本膵臓学会大会. 2012.. 山形.
 201. 趙明浩、山本宏、貝沼修、太田拓実、朴成進、有光秀仁、池田篤、早田浩明、鍋谷圭宏、滝口伸浩、永田松夫、須藤研太郎、中村和貴、原太郎、山口武人. 通常型浸潤性膵管癌への Minimally Invasive Surgery の可能性. 第 43 回日本膵臓学会大会. 2012.. 山形.
 202. 今岡 大、水野伸匡、脇岡 範、原和生、田中 努、近藤真也、田近正洋、品川秋秀、大林友彦、長谷川俊之、永塩美邦、丹羽康正、清水泰博、山雄健次: 当院における局所進行切除不能膵癌に対する治療戦略. 第 43 回日本膵臓学会,2012.(山形)
 203. 長谷川俊之、脇岡 範、水野伸匡、原和生、今岡 大、永塩美邦、大林友彦、品川秋秀、丹羽康正、田近正洋、近藤真也、田中 努、山雄健次: 膵神経内分泌腫瘍の診断および悪性度評価における EUS および FNA の有用性. 第 43 回日本膵臓学会大会,2012.山形
 204. 脇岡 範、長谷川俊之、水野伸匡、原和生、今岡 大、細田和貴、谷田部 恭、清水泰博、丹羽康正、山雄健次: 膵内分泌腫瘍に対する組織診断および悪性度評価における EUS-FNA の有用性. 第 43 回日本膵臓学会総会,2012.(山形)
 205. 大田耕司、棚田稔、浅木彰則、井口東郎. 膵管内乳頭粘液腫(IPMN)における造影 PET-CT の役割. 第 43 回日本膵臓学会 2012.6.28-29 日,山形
 206. 久野晃聖、藤山隆、杉本理恵、奥村幸彦、古川正幸. Gemcitabine および S-1 への不応膵がん症例における追加化学療法の有効性についての検討. 第 43 回日本膵臓学会大会 . 2012.06.28-2012.06.29 : 山形
 207. 井口東郎. 胆・膵領域癌における化学療法の最前線. 日本消化器病学会教育講演会(四国支部) 2012.6.10 日、高松.
 208. Fukutomi A, Okusaka T, Sugimori K, Ueno H, Ioka T, Ohkawa S, Boku N, Yamao K, Mizumoto K, Furuse J, Funakoshi A, Hatori T, Yamaguchi T, Egawa S, Sato A, Ohashi Y, Cheng AL, Tanaka M. Updated results of the GEST study: Randomized phase III study of gemcitabine plus S-1 (GS) versus S-1 versus gemcitabine (GEM) in unresectable advanced pancreatic cancer in Japan and Taiwan. 2012 ASCO Annual Meeting, J Clin Oncol 30, 2012 (suppl; abstr 4035), 2012.6.4, Chicago
 209. Charles Fuchs, Ikeda M, Gyorgy Bodoky, Okusaka T, Ohkawa S, Mizuno N, Anna Swieboda-Sadlej, Alberto Sobrero, Vincent Haddad, Jesse McGreivy: A phase III trial of ganitumab (GAN, AMG 479) with gemcitabine (G) as first-line treatment (tx) in patients (pts) with metastatic pancreatic cancer (MPC): An analysis of safety from the GAMMA trial

- (GEM and AMG 479 in Metastatic Adenocarcinoma of the Pancreas).. ASCO 2012,2012.(Chicago, USA)
210. 古瀬純司: 肝・胆道・膵癌の化学療法・分子標的治療. 教育セミナー1「医の倫理」・「肝胆膵癌の手術を取り巻く集学的治療」第24回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2012.5.30, 大阪市
211. 林覚史、中森正二、宮本敦史、辻江正徳、浅岡忠史、山本和義、山村順、安井昌義、増田慎三、大宮英泰、池永雅一、宮崎道彦、平尾素宏、高見康二、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政. 浸潤性膵管癌根治切除後の残膵癌および孤立性肺転移に対して外科的切除を施行した1例 第191回近畿外科学会. 2012.5.26-26, 大阪市
212. 中森正二、宮本敦史、浅岡忠史. 膵切除における腹腔鏡下手術と開腹手術の適応 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 2012.5.30-1, 大阪市
213. 武岡奉均、宮本敦史、中森正二、浅岡忠史、山本和義、安井昌義、大宮英泰、池永雅一、宮崎道彦、平尾素宏、高見康二、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政. 膵頭十二指腸切除術におけるSSI発生に関する検討 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 2012.5.30-1, 大阪市
214. 平山敦 長川達哉 宮川宏之. 悪性消化管狭窄に対する胃十二指腸ステント留置術(WallFlex stent)の検討と課題 第83回日本消化器内視鏡学会総会シンポジウム, 2012.5.
215. 佐田尚宏、小泉大、志村国彦、兼田裕司、笠原尚哉、森嶋計、田口昌延、三木厚、遠藤和洋、藤原岳人、清水敦、俵藤正信、安田是和. 当科における膵縮小手術の成績と工夫. 第112回日本外科学会 ビデオセッション. 2012.4.12
216. 三賀森学、藤谷和正、中森正二、八十島宏行、山本和義、浅岡忠史、山村順、安井昌義、増田慎三、宮本敦史、大宮英泰、池永雅一、宮崎道彦、平尾素宏、高見康二、三嶋秀行、辻仲利政. 胃切除術、膵頭十二指腸切除術が体組成へ及ぼす影響-InBody720測定装置を用いた検討- 第112回日本外科学会定期学術集会. 2012.4.12-14, 千葉市
217. 小川和彦、伊藤芳紀、廣川直樹、澁谷景子、小久保雅樹、淡河恵津世、大西洋、唐澤克之、根本建二、西村恭昌. 切除不能膵臓癌に対するゲムシタビン同時併用化学放射線療法. 第71回日本医学放射線学会学術集会. 2012.4.14日 横浜
218. 伊藤裕幸、川口義明、鶴谷康太、仁品玲子、小川真実、峯徹哉. 診断に苦慮した慢性膵炎併発膵癌の2症例. 第98回日本消化器病学会総会. 2012.4.
219. 須藤研太郎、山口武人、横井左奈. 切除不能進行膵癌における網羅的ゲノム解析による個別化治療法の確立の試み. 第98回日本消化器病学会総会. 2012.4. 東京.
220. 今岡大、肱岡範、原和生、水野伸匡、田中努、近藤真也、田近正洋、品川秋秀、大林友彦、長谷川俊之、永塩美邦、丹羽康正、清水泰博、山雄健次. 当院におけるTS1膵癌に対するEUS-FNAの診断成績. 第98回日本消化器病学会総会, 2012.4, 東京
221. 三賀森学、中森正二、宮本敦史、浅岡忠史、山本和義、安井昌義、池永雅一、宮崎道彦、平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、辻仲利政. 胆管空腸吻合後の拳上空腸閉塞に対してバイパス術が有効だった4例 第48回日本腹部救急医学会総会. 2012.3.14-15, 石川県金沢市
222. 奥坂拓志. (シンポジウム) NETにおける分子標的治療薬の適応. 第7回NET Work Japan 2012.2.18日, 東京都
223. 新名雄介、五十嵐久人、李倫學、藤森尚、大野隆真、伊藤鉄英、高柳涼一. 切除不能膵癌による悪性十二指腸狭窄に対する金属ステント留置の有用性. 第4回福岡医学会総会 2012.1.29 福岡
224. Okusaka T. (General Poster Session B, Fri, Jan 20, 2012. ファイザー治験発表) Phase II study of sunitinib (SU) in Japanese patients with unresectable or metastatic, well-differentiated pancreatic

- neuroendocrine tumor (NET). (Abstract #381) American Society of Clinical Oncology, The 2012 Gastrointestinal Cancers Symposium (ASCO-GI), Jan 19-21, 2012, San Francisco, CA, U.S.A.
225. Shiba S, Morizane C, Ueno H, Kondo S, Yamaguchi T, Ikeda M, Shimada K, Kosuge T, Hiraoka S, Okusaka T. (General Poster Session B) Pancreatic neuroendocrine tumors: 20 years' experience of 100 patients at a single center. (Abstract #179) American Society of Clinical Oncology, The 2012 Gastrointestinal Cancers Symposium (ASCO-GI), Jan 19-21, 2012, San Francisco, CA, U.S.A.
226. Fukahori M, Kondo S, Yamaguchi T, Sakamoto Y, Morizane C, Ueno H, Okusaka T. (General Poster Session B) Efficacy of gemcitabine as second-line therapy after S-1 therapy failure in advanced pancreatic cancer. (Abstract #248) American Society of Clinical Oncology, The 2012 Gastrointestinal Cancers Symposium (ASCO-GI), Jan 19-21, 2012, San Francisco, CA, U.S.A.
227. Kentaro Sudo, Taketo Yamaguchi Kazuyoshi Nakamura, Taro Hara, Tadamichi Denda, Shuichi Hironaka, Takuto Suzuki, Keiko Minashi, Osamu Kainuma, Hiroshi Yamamoto, Akihiro Cho, Kazuo Hatano, Motohisa Tada, Takeshi Ishihara, Osamu Yokosuka. The role of chemotherapy and chemoradiotherapy in the treatment of borderline resectable and locally advanced pancreatic cancer. International Symposium on Pancreas Cancer 2012 in Kyoto.
228. Akiko Kuwahara, Shuichi Mitsunaga, Izumi Ohno, Satoshi Shimizu, Hideaki Takahashi, Hiroyuki Okuyama, Takuji Okusaka, Hideki Ueno, Chigusa Morizane, Shunsuke Kondo, Masafumi Ikeda. Symptom changes that predict disease control by systemic chemotherapy in patients with advanced pancreatic cancer. 2012 Gastrointestinal Cancers Symposium. January 19-21, 2012 San Francisco.
229. 奥坂拓志. (特別企画その2 癌ペプチドワクチン療法ガイドランス) Phase I. II 臨床試験. 第24回日本バイオセラピー学会学術総会. 2011.12.1-2, 和歌山市
230. 佐田尚宏, 小泉 大, 笠原 尚哉, 兼田 裕司, 遠藤 和洋, 志村 国彦, 笹沼 英紀, 佐久間 康成, 俵藤 正信, 安田 是和. 当科における幽門輪温存腓頭十二指腸の前壁切開腓胃吻合法の工夫. 第73回日本臨床外科学会主題関連演題 ビデオ (日本臨床外科学会雑誌 72:486, 2011) 2011.11.17, 東京
231. 平山敦 長川達哉 宮川宏之. 第20回 DDW JAPAN シンポジウム. 膵臓癌肝転移に対する動注療法, 2011.11.
232. 平尾素宏, 藤谷和正, 高見康二, 大宮英泰, 山本和義, 浅岡忠史, 辻江正徳, 宮本敦史, 安井昌義, 池永雅一, 三嶋秀行, 中森正二, 辻仲利政. 食道癌根治切除術後の肺転移にたいする切除の意義. 第73回日本臨床外科学会総会, 2011.11.17日, 東京
233. Miyamoto A, Nakamori S, Tsujie M, Asaoka T, Yamamoto K, Yasui M, Ikenaga M, Miyazaki M, Hirao M, Fujitani K, Mishima H, Tsujinaka T. The impact of obesity on pancreaticoduodenectomy. 21st IASGO 2011, November.9, Tokyo.
234. Ito T. Current status of gastroenteropancreatic neuroendocrine tumors in Japan. 21st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists. Nov.9-12, 2011, Tokyo, Japan
235. 藤山隆, 久野晃聖, 奥村幸彦, 杉本理恵, 古川正幸. IPMN 合併膵癌に対して膵全摘後、7後に肺転移にて再発を認めた1例. 第98回日本消化器病学会九州支部例会・第92回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2011.11.18-2011.11.19:長崎
236. 久野晃聖, 藤山隆, 杉本理恵, 奥村幸彦, 古川正幸. Gemcitabine および S-1 への不応膵がん症例における追加化学療法の有効性についての検討. 第98回日本消化器病学会九州支部例会・第92回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2011.11.18-2011.11.19:長崎
237. 岩尾梨沙, 五十嵐久人, 李 倫学, 内田匡彦, 脇岡真之, 新名雄介, 藤森 尚, 中村太一, 大野隆真, 高柳涼一, 伊藤鉄英. 留置した胆管メタリックステントが原因で持続性胆道出血を来し、メ